

■令和4年度 市長をかこむ会

川上地区 R4.10.3 (月)

19:00~20:15

場所: 川上地区公民館

出席者	住民	22人	市 大城市長・藤堂総務企画部長 政策推進課 徳田係長・清家主査
-----	----	-----	------------------------------------

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
総務課	防災無線について	危機管理室の職員にも確認してもらったが、タノウラ地域は白石の防災無線を使っており、実際にはほとんど電波を拾えていない。 また山の方も防災無線になってから、何箇所かあったスピーカーが撤去されて全然聞こえないところがあるので何とかならないか。	内部で改めて内容を精査し、どうしても必要であれば、充てられる交付金がないか調査し、何とか予算を確保できるよう検討したい。 【補足】 8月に防災行政無線のスピーカーの方向調整を行い、地区の方にも聞こえ方を確認していただいている。 様子を見ていただき、まだ聞こえ難いということであれば、再度対応を検討したい。 防災行政無線は山の方では聞こえないところもあるが、放送内容は戸別受信機に録音されるので確認していただきたい。 また、災害に関する情報は、防災行政無線のほか、防災メール・SNS・ラジオ等でも発信されており、スマートフォン等でも確認できるので、様々な手段を用いて情報確認をしていただきたい。
総務課	非常時の備蓄食料について	避難所にある大災害時の備蓄食料の量が、地区の人口に対して少ない状況である。 市街地であれば災害時でも運べる道路網があるが、川上地区は災害時に道路が寸断され、孤立化する可能性がある。 自主防災会の予算も限られており、こういった孤立化する可能性がある地区に市から備蓄食料を多く支給してほしい。	今年度より災害物資の拠点を整備したところであり、川上地区であれば真穴中学校に多くの備蓄食料を配置している。 川上から真穴間が寸断された場合の対応については、今後さらに検討を進めていきたい。平成30年7月豪雨災害時の宇和島地区では、道路が寸断された際、船での輸送が一番早かったということもあり、海岸線の地区には船での輸送も検討したい。 ただ、市で準備するにも予算に限りがあるので、災害時の食料の備蓄に当たっては、市民の皆さんにも常日頃から備えておく等の協力をお願いしたい。
子育て支援課	川上保育所の存続について	一昨年、川上保育所の耐震補強工事をしたと思うが、整備をしたということは川上保育所は今後も残すべき保育所という考えでよいか。	残すつもりである。
市立病院	産婦人科について	出産の際は大洲に行かないといけないということで、大変不便である。 八幡浜で出産まで面倒を見ていただけるように産婦人科を整備してほしい。	今年1月より市立病院に産婦人科の常勤医師が1名、応援医1名に来てもらうようになった。 24時間365日産科をやっていくには、最低3人は必要であると愛媛大学の産科の教授に言われているところであり、もう1人常勤医師を派遣してもらえるようになれば産科が再開できるようになる。 助産師も含め、里帰り出産ができるよう尽力していくのもう少しお待ちいただきたい。 【補足】 本年1月に市立病院に産婦人科の常勤医師1名が着任され、週5日の外来診療(火・水は応援医との二診体制)と入院が可能な体制となった。県下では愛媛大学から夜勤等の応援医と常勤医師2名体制で分娩を行っている公立病院もあるので、市立病院での常勤の産婦人科医師の確保に努めていきたい。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
建設課	大洲・八幡浜自動車道の進捗状況について	大洲・八幡浜自動車道開通を楽しみにしているところであり、現在の進捗状況及び開通見通しをお聞きしたい。	八幡浜道路については今年度末に完成の予定である。 夜昼道路(トンネル)については、令和10年代半ばに開通、最後の大洲西道路まで繋がるのが令和20年初頭という予定である。
子育て支援課	スクールバスの運行状況について	最近静岡でスクールバスに取り残され園児が死亡するという痛ましい事故があった。八幡浜市もいくつかスクールバスが運行していると思うが、対策はしているのか。	民間の幼稚園がバスでの送迎を行っているが、保育士が同乗し、しっかり確認しているのでご安心いただきたい。 【補足】 今年度、県からの依頼を受け、バスの安全管理に関する実地調査を行う。 来年度から、政府は安全装置の義務化や安全装置の設置費用を補助する方針で、バス内の置き去り防止対策を強化する。
学校教育課	小学校の統廃合について	川上小学校は今後どのように変わっていくのかお聞きしたい。	小・中学校の統廃合については、元々の再編計画通りにはなっていないため、新たに再編計画を練っていく必要がある。 子どもの人数を考慮した上で、学習環境を考慮して何人規模の学校が一番望ましいのか、地域の皆さんと一緒に考えていきたい。 【補足】 「八幡浜市学校再編整備第二次実施計画」前期5か年計画で達成できなかった再編の枠組み、児童生徒数の大幅な減少、今年7月に県教育委員会が公表した「愛媛県立学校振興計画」及び、部活動の地域移行に関する検討会議提言等を参考に、今年度末に後期5か年の実施計画を策定して、公表する予定であり、その後、各地区で説明会等を開催して、ご意見を伺いながら進めていきたい。
農林課・建設課	農道・市道の市対応窓口について	農道・市道に損害があった時の確認を市にお願いする際、農道は農林課、市道は建設課が窓口ということになっているが、一つにまとめることはできないのか。	窓口を一つにまとめるということは、作られた目的や財源的な部分を考えると難しいが、どちらの課に言ってもらっても内部で整理し、担当課で対応するようにするため、どちらに言ってもらってもかまわない。
市民課	お悔み窓口について	以前の市長をかこむ会で、家族が亡くなった際の手続きについて、一つの窓口で完結するカウンターがあれば良いという意見を言っていた。 その後自身の親族が亡くなった際、手続きに行ったら、お悔みカウンターに座っているだけで、各部署の職員が来てくれて座ったまま手続きができてとても良かった。	この市長をかこむ会で意見をいただいたからできたことだと思う。 貴重な意見をいただいたことに関して、こちらでも感謝したい。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
政策推進課	地域おこし協力隊について	地域おこし協力隊を呼んで、地区を盛り上げていきたいと思っている。またその検討を進める中で、住居の確保ができず困っている。どうにかできないか。	地域おこし協力隊については、任期が終わった後、自立して地域に残ってもらうことが重要であるため、その部分をしっかり考えておく必要がある。今は新しい制度として1~2か月体験入隊というのもあるので、そういう制度も踏まえて考えてみればどうか。住宅については持ち帰って検討したい。 【補足】 地域に根差した活動をしてもらうことを第一に考えた場合、できるだけ地区内に居住することが望ましいと考えている。これまで他の地区でも住居の確保をお願いしているため、現状では特定の地域のみ緩和することは難しい。今後、協力隊の活動内容や任用形態などの多様化を検討する必要もあると考えており、その際には現行の要件についても見直しを検討したい。
農林課	農業用倉庫について	Iターンの人々を受入れたいと思っているが、倉庫がないため断らざるを得ない状況である。どうにか対応策を考えてほしい。	空いた土地ができれば、そこに設置できるよう検討したいが、なかなか土地がなく難しい。例えば、地区の協力が必要だが、今後もし小学校が統廃合となれば倉庫の用地に充てる事も考えられる。そういった事を含め、良い方向に向かうよう地区と話し合っていきたい。
総務課	避難所停電時の対応について	先日の台風で避難所を開設した際、公民館が停電になり避難所として機能しない状態になった。川上地区には電線の系統が2つあり、公民館は停電したが、JAの事務所は無事だった。こういった際は、JA事務所を避難所にする等の対応ができないか。	JAと連携しながら、避難所として活用できるように相談していきたい。 【補足】 緊急時には、地区からJAに要望していただき、許可が得られれば自主的に開設する避難所として活用してもらってかまわない。また、市としても今回のような場合にJA事務所等が活用できないか相談していきたい。
生涯学習課	公民館の空調設備について	1階学習室の天井埋め込み式のエアコンが故障しており、市に修理を依頼している状態であるが、他のエアコンも古く、いつ壊れてもおかしくない。将来を見据えて、壁設置型のエアコンを取り付けてほしい。	壁設置型の取り付けは行っているが、他の地区で同様の要望があり、予算にも限りがあるため、各地区の状況を精査した上で優先順位をつけ、順次更新していきたいと思う。